

農大生（花きコース）の取り組み

和歌山県農業大学校

養成部長（花きコース長）高松 久起

農業大学校では果樹、野菜、花きの3コースが設定されており、1年生は入学後の6月から仮専攻として、それぞれコースに分かれて専攻実習を開始し、夏休み明けの9月に専攻を確定します。

現在、花きコースは2年生7名と1年生4名（仮専攻）の11名が専攻し、実習を行っています

在学中に、各コースを問わず取得できる資格・免許には、大型特殊自動車（農耕用）、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、フォークリフト運転技能、園芸技術員（和歌山県農）等があり、全学生がこの資格取得を目指します。

これらの資格の他に、花きコースの2年生が独自で取得を目指す資格「フラワー装飾技能検定3級」があり、その取り組みについて紹介します。

本資格取得には学科試験、作業試験があり、学科試験については、本校で推奨している「園芸技術員資格認定」「日本農業技術検定2級」の合格を目指して学習する「園芸技術」の授業の中でフラワー装飾に関する学習を行っています。

また、作業試験（実技）に関しては、和



歌山県技能振興コーナーを通じ外来講師（熟練技能者）を招き、専攻実習時間の中で作業試験前に技能検定の過去問題を活用した指導を数回受けます。

校内で栽培している切り花のカーネーション等の採花、調整、ラッピングは日頃の実習で行っていますが、アレンジの経験はどの学生も無く、指導を受けて花束及びリボン、バスケットアレンジメント、ブートニアを作成します。いずれも作業試験においては、時間内に規格通りのものを作成する必要があります。



フラワー装飾の実技練習は、普段の専攻実習とは違った雰囲気の中で指導を受け、最初は戸惑っていた学生も回を重ねる毎に上達していきます。合格率は100%とはいきませんが、資格取得を目指した実技練習は、2年間の学校生活の中でも心に残るものかと思います。

なお、2月の卒業式には花きコース2年生が卒業生全員のブートニアを作成し、皆がそれを胸につけ卒業式に出席します。他の資格同様、本資格がスキルの一つとして学生の一生の財産になるかと思います。